

平成20年度 決算

全11会計の決算が、
9月定例議会で
認定されました。

一般会計

3057,155千円の黒字

南部町の20年度一般会計決算は、歳入が前年度比5%増の6,442,613千円、歳出が前年度比5.3%増の6,029,591千円となり、歳入から歳出を差し引いた形式収支は、413,022千円ですが、国の補正予算に伴う地域活性化・生活対策臨時交付金事業や情報通信基盤整備事業などの事業が翌年度に繰越された為、形式収支からその財源55,867千円を控除した実質収支は357,155千円の黒字となりました。

歳入は

百年に一度と言われる経済情勢の悪化等により、法人町民税が減収となり町税全体では1.2%減の1,031,408千円、各種交付金も、地方消費税交付金などの減収により6.3%減の173,046千円となりました。一方、

町の収入の44.9%を占める地方交付税は地方再生対策費の創設により3.9%増の2,892,931千円となり、普通建設費の増により国・県支出金が2%増の581,258千円、地方債は0.8%増の643,300千円となりました。また、地方債繰上償還財源として減債基金からの繰入金は85,775千円となりました。

歳出は

合併時より整備が進められた「町道楮根南部線」が20年度で全線開通したこともあり普通建設事業費が16.6%増となり、公債費についても将来の負担軽減となる公的資金補償金免除繰上償還を実施したため16%増となりました。また、児童及び老人福祉等の扶助費は0.3%増、簡易水道・後期高齢者医療特別会計等への繰出金が4.3%増となりましたが、物件費は5.6%の減、人件費は前年に引き続き退職者不補充により6.5%の減少となりました。

財政構造の弾力性を判断する「経常収支比率」は、交付税の増加などで1.2ポイント改善され82.2%でした。

●一般会計の決算状況

単位：千円

歳入	歳出	差引
6,442,613	6,029,591	413,022
翌年度への繰越財源		55,867
実質収支		357,155

●平成20年度の主な施策

単位：千円

区分	事業費
消防施設整備事業	33,880
合併浄化槽設置事業	42,266
農道等改良整備工事費	85,159
林道改良整備費	61,957
町道新設改良工事費等	728,598
簡易水道施設整備事業	262,740

●特別会計の決算状況

単位：千円

区分	歳入	歳出	差引	
簡易水道	366,112	353,665	12,447	
指定居宅サービス	66,466	61,443	5,023	
国民健康保険	事業勘定	991,368	944,538	46,830
	直診勘定	269,151	239,501	29,650
老人保健介護保険	南部	269,151	239,501	29,650
	万沢	88,088	76,814	11,274
老人保健介護保険	212,447	202,165	10,282	
後期高齢者医療	889,696	855,669	34,027	
陸合財産区	232,594	214,801	17,793	
富沢財産区	2,242	1,146	1,096	
大城平外二山財産区	6,564	5,965	599	
大日向外三山財産区	749	324	425	
	171	130	41	

20年度特別会計の決算状況

特定の事業については、収支の独立性を明確にするため、一般会計とは別に特別会計を設けています。20年度から「後期高齢者医療特別会計」が加わり10会計となりました。決算は次のとおりです。

財政健全化判断比率の公表

昨年度「地方自治体の財政の健全化に関する法律」が施行され、町の財政状況を測る指標を監査委員の審査を受け、議会に報告するとともに、公表することが義務付けられ、21年4月から判断基準を超えた場合には、財政健全化計画及び財政再建計画の策定が義務付けられました。

健全化判断比率は4つの指標で早期健全化基準の比率以下であれば健全であるといえます。資金不足比率は公営企業(簡易水道)会計の経営状況を測るもので、こちらも経営健全化基準の比率以下であれば健全であるといえます。南部町は次の表のとおり、いずれの指標も基準以下であり健全財政を維持していることを示しています。

●健全化判断比率

単位：%

区分	南部町比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	15.0	20.0
連結実質赤字比率	-	20.0	40.0
実質公債費比率	11.4	25.0	35.0
将来負担比率	46.3	350.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字額がないので「-」で表示

●資金不足比率

単位：%

特別会計名	南部町比率	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	-	20.0

※資金不足比率は資金不足がないので「-」で表示

実質赤字比率……一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
 連結実質赤字比率……全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
 実質公債費比率……一般会計等が負担する公債費の標準財政規模に対する比率
 将来負担比率……一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

話題満載

『山梨県環境緑化功労者知事賞』受賞



10月14日 山梨県林業まつり記念式典伝達式において、「白鳥山を創造する会」が山梨県環境緑化功労者知事賞を受賞されました。

これは地域のシンボルとなる名所づくりへの取組みにより緑化思想の普及啓発に貢献している団体に送られるものです。「白鳥山を創造する会」は平成9年に設立され現在71名の会員の皆さんで白鳥山周辺の植樹や現有花木の維持管理、公園付近の下刈、花木の植樹、遊歩道の整備、地域伝統文化伝承のためのミツマタ、コウゾの植栽等、様々な活動を行なっています。これらの功績が評価されこの度の受賞となりました。おめでとうございます。

森の能手・名人認定

10月14日 山梨県林業まつり記念式典伝達式において(社)国土緑化推進機構が認定する「森の能手・名人加工部門」の「ログハウス名人」として市川 巖さん(柳島)が、認定の伝達を受けました。

これは、森や山に係る生産や地域生活において、優れた技をもってその業を極め、他の模範となつている達人を認定しているもので、全国で100人が認定されています。

市川さんは22年前より地元の間伐材等を利用したログハウス建築事業に着手し、その質の高さから県内外の公共事業等にも進出し、実績を上げてきました。この功績が評価され、この度の認定となりました。おめでとうございます。



南部町体育祭

10月11日、晴れ渡つた秋空の下、アルカディア運動公園で、南部町体育祭が行われました。



玉入れや綱引き、リレーなど、代表者や一般参加による各種競技が行われ、町をあげての楽しい交流の場となりました。



老人運動会



10月22日、アルカディア運動公園で老人運動会が行われました。

町内各区分から集まったお年寄りが、長年鍛えられた足腰で元気に競技を行い、応援席でも、声援やお喋りでもにぎやかでした。楽しい運動会となりました。

